

ふるさとふちゅう

再発見

【第52回】府中が農村だったころ（12）～溜池（1）

農業に不可欠なものが水です。農村であった頃の府中には多くの溜池がありました。表は江戸時代の溜池一覧表です。下二段の「文化12年・面積」の欄は文化12（1815）年当時の「府中村国郡志下しらべ帳」に記載された溜池の名称とその面積です。全14か所で、一番広いのは長田（現永田）池で面積は4反7畝（約4650㎡）です。一番狭いのが千代池で2畝21歩（約270㎡）、全14か所の合計は2町1反2畝24歩となり約2万1100㎡になります。周辺の田畑を潤すために相当の面積であったことが分かります。表の「元文5年」の欄は元文5（1740）年の「諸樋諸橋仕出帳」に記載されている8か所を○で示しました。最上段の「築造年代」の欄はその史料に記載された池で築造年代が明記された6か所の年代を西暦で記しています。府中村で新開地が増加する1600年代後半から溜池も増えたことが分かります。

の賃金は藩が負担したとあります。溜池造成には藩の役割が大きく、溜池は自然にできたものではなく、人間によって造られたものだといえます。表の地名から溜池があるのは大きな川の付近の平野部ではなく、陸地部の谷間に造られており、周辺の棚田・新開地などの農業用水として活用されたことが分かります。

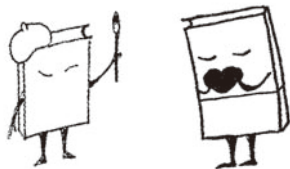
築造年代	元文5年	文化12年	面積
1672	○	千代	2畝21歩
1730	○	笹ヶ谷	3畝3歩
		池尻	3畝12歩
	○	杉ヶ原	3畝15歩
	○	八幡	6畝9歩
		引地	6畝15歩
		入道才上	8畝9歩
		朝泊り	1反3畝
1716	○	オ峠	1反6畝
1728	○	布ばえ	1反9畝
1662	○	入道才	1反9畝
1690	○	鶏崎	3反1畝
		日焼谷	3反4畝
		長田	4反7畝

府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

図書館からの
今月読むならコレ！

町立図書館 ☎286-3405

図書館職員が
選んだおすすめ
図書を紹介

中高生向け



池上彰の経済学入門（ちくまプリマー新書）

池上 彰／著 筑摩書房／出版

日々をにぎわす経済関連のニュース。経済について知りたいあなたに最適の入門書。池上彰さんが、世の中の仕組みや考え方を身近な例をあげて解説します。※わかりやすい表現で大事なことが学べる「ちくまプリマー新書」シリーズは、YA（ヤングアダルト）コーナーにあります。

いぬはともだち

高畠 純／作 佼成出版社／出版

チワワがうちゅうじん？めがねざる？いわれてみればにている、にたものさがしや めいろなどで、いぬのしゅるいや、とくちょうをしろう！いぬのきもちをあらわす、しぐさがわかると、もといぬとなかよくなれそう。



絵本

府中町 LINE 公式アカウント 友だち募集中！

毎月1日の朝に広報ふちゅうを配信しています。また、防災情報や暮らしの情報も。

友だち追加はこちら▶



LINE

広報ふちゅうが
毎月1日に
配信されるんよ！

そりゃー、LINEで
友だち追加
せんかね！

うん！
すぐするけんね！

